

Vortex Magazine

V-PLUS 4

April 2020 Vol.46

特集

価値創造を 続ける力

Seminar Report Special

徹底検証 世界都市・東京の強さ
オリンピック後も高まる
都心の価値創造パワー

大都市政策研究機構・理事長 市川 宏雄氏

V-Voice

未知の分野に飛び込み、
前例のない課題へ挑戦する

経営企画担当執行役員 岩切 邦雄

BOOK REVIEW

『生きている会社、死んでいる会社』

株式会社ローランド・ベルガー 会長 遠藤 功氏

区分所有オフィスのボルテックス

Vortex



VORT西新宿II



大都市政策研究機構・理事長

市川 宏雄氏

第1回

オリンピック後も高まる 都心の価値創造パワー

東京オリンピック・パラリンピックの開催が間近に迫り、東京という都市に対して国内外からこれまで以上に熱い視線が注がれています。世紀の祭典後の東京はどう発展し、その価値はどう変化するのでしょうか。都市政策の専門家である市川宏雄先生が登壇し開催されたセミナー（2月19日、TKPガーデンシティPREMIUM丸の内パシフィックセンチュリープレイス）の内容から、今号より3回に分けてポイントをご報告します。

市川 宏雄氏

大都市政策研究機構・理事長、明治大学名誉教授。日本テレワーク学会会長、日本危機管理防災学会会長などの学術的活動に加え、文京区・中央区都市計画審議会会長、港区・渋谷区基本構想等審議会会長をはじめ、国土交通省、内閣府等の政府委員を多数歴任。世界で活躍している都市政策の権威。

少ない費用で効果的な都市開発を実現

2月末に東京アクアティクスセンターが完成し、オリンピック・パラリンピックの会場として東京都が新設する「3大アリーナ」が出揃う形になりました。オリンピック開催都市では、それに合わせて大規模な都市計画が行われるのが常ですが、今回の東京に関しては、それほど大掛かりな整備は行われていません。国が管轄する新国立競技場（新宿区）を除いては、新たなインフラ整備は東京都心部の南側に位置する臨海部に集中しています。オリンピックを契機に大きく変化するのは豊洲・有明を含む臨海部一帯であり、このエリアが今後の東京の大きな趨勢を示すものとなっています。

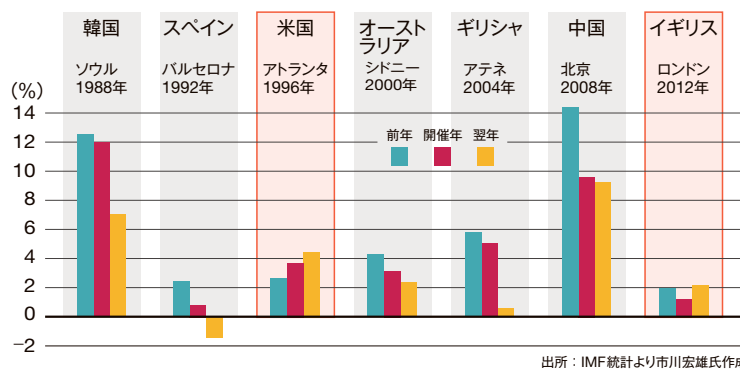
オリンピック後に経済が落ち込む、地価が下落するといった説も根強くありますが、市川氏は過去の開催都市のデータをもとに、この説をあっさりと否定します。

「開催後に景気が悪くなるのは、オリンピックに大金をつぎ込むからです。ソウル、バルセロナ、シドニー、北京では開催後に経済成長率が下がっていますが、ロンドンやアトランタでは上がっています。後者のように、開催時にすでにある程度成熟した都市では、大規模な都市改造が必要ないからです」（市川氏）

いい例が1964年の東京オリンピックでしょう。新幹線や高速道路をつくったり、東京中を改造し、そのためにつぎ込まれたのは約1兆円。現在の価格に換算するとおよそ30兆円になります。

「大金をつぎ込めば翌年落ち込むのは当たり前です。今回の東京の費用は2〜3兆円ほど。ムリをしていません。東京はすでに成熟した都市であり開催後に景気が上向いたロンドンやアトランタのように推移すると予測しています」

オリンピック前後の開催国の経済成長率



出所：IMF統計より市川宏雄氏作成

もっとも、開催翌年に景気が落ち込んだ都市もその後はまた上がっていきます。開催国以外の成長率の推移と比較しても、いったん落ち込んだとしてもオリンピックの恩恵は確実にあるといえます。

オリンピック後に変貌する中央区

投資額が少ないとはいえ、東京では魅力的な都市開発が進んでいます。選手村は後日改装され中央には2本の超高層タワーが建てられて、2022年頃から一般分譲されることが決まっており、すでに販売が始まっている第一期分は最高倍率71倍の超人気物件に。ここだけで、中央区の人口が1万人増える試算です。

「ただでさえ都心回帰の流れが高まっていることもあり、中央区の人口増に拍車がかかっています。そのためいち早くマンションなどの容積率の緩和制度を廃止して、今後はあまり人口を増やさない方向に舵を切り、一方、生活便利施設や街のにぎわいに寄与するホテルを増やす計画を掲げています」

中央区といえば、卸売市場の豊洲移転で今後の跡地利用が注目される築地も擁しています。築地市場跡地の魅力はその広さと立地。西側は浜離宮、北側は銀座・日本橋、南側・東側は臨海エリアに面する立地の良さに加え、その広さは20ヘクタール超。六本木ヒルズの17ヘクタール、汐留の35ヘクタールと比べても、築地が東京のこれからの発展に大きな影響を与える場所であることは間違いありません。東京都は築地市場跡地の再開発計画の素案として、国際会議場や展示場設備を擁するMICE*施設の整備を計画しています。

「交通ターミナル施設や研究開発施設、国際会議場、緑地など、さまざまな可能性が提案されていますが、具体的な議論が進むのはオリンピック後になるでしょう」

2030年頃の完成を目処に、築地の景色は大きく変わっていくことになりそうです。

まだまだ続く東京への人口流入

日本の人口減少が深刻化する中、唯一例外的に人口が増え続けているのが東京です。近年は東京圏に年間約10万人の人口が流入しており、東京全体であと100万

人くらい増えてもおかしくないことになります。東京都は1998年に、4つのシナリオをつくって2050年の人口予想を行っています。最大に見積もった場合、1,250万人になると推計していましたが、その30年手前の現在ですでに1,360万人と100万人の超過が生じています。

なかでも増加傾向が顕著なのが、港・千代田・中央の都心3区。2015年の統計では3区で45万人ですが、2040年には60万人まで増えるといえます。

こうした東京一極集中は、今に始まったことではありません。市川氏によれば、起こるべくして起きた自然の流れ。背景には産業構造の変化があります。

「オイルショック、バブル崩壊、リーマンショックを経て、日本の産業の主体は製造業から第三次産業に完全にシフトしました。第三次産業が成立するのは大都市だけ。この状況が続く限り、地方分散とか、東京への人口流入を食い止めようというのは、現実味のない話です」

入ってくるのは日本人だけではありません。外国からの流入も増え続けています。またこの3、4年の人口流入には、「若い女性の率が高い」という傾向があると市川氏は指摘。

「仙台、福岡など地方の中核中核都市から、20代前半の働く女性が多数流入しています。理由は簡単で、東京のほうが生活しやすく、周囲のしがらみが少ないからです。この傾向はまだまだ続くでしょう」

もう一つ、東京が秘めている可能性が垣間見えるのが、「都市の昼夜間人口比率」の比較データです。1990年に東京都が行った調査によると、都心3区の昼夜間人口比率は8.3。つまり夜間の人口が50万人だとすると、日中はその8.3倍の415万人が同エリアで活動することになります。一方世界の大都市は、マンハッタンが3.7、ロンドンが2.7、パリに至っては1.5と、東京とは大きくかけ離れた数字でした。この格差は、都心を業務地化して住居は郊外にという、東京の旧来からの街づくりによって生まれたものですが、実は2018年には、都心3区の昼夜間人口の差は5.4まで下がっています。

「それだけ都心回帰が進んでいる証拠です。この動きがどこで止まるかはわかりませんが、あと100万人くらいは増えると考えています」

* MICE…… 企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

東京一極集中現象は、東京の価値や日本経済のトレンドを大きく変化させています。変貌し続ける東京の魅力・強さを、5月号ならびに6月号で続けてお伝えします。

未知の分野に飛び込み、 前例のない課題へ挑戦する ～意識の高さと挑戦心が価値創造の源泉～

企業が「価値創造」を実現するには、自社が目指すべき価値とは何か、その本質を見極めることが重要であり、それを支える人材の育成や環境整備も不可欠です。メガバンク、メーカー、IT企業を経て、2019年、経営企画担当執行役員に就任した岩切邦雄に、ボルテックスが不動産ビジネスを通じて目指すべき本質的価値とは何か、そのために今後、我々に必要となるものは何かを語ってもらいました。



多様な個性を融合させていくことが 価値創造には欠かせない

区分所有オフィスのトップランナーであるボルテックスは、企業として一層の成長を遂げるため、経営体制の強化や業務改善など幅広い改革に取り組んでいます。こうした経営改革の推進の中核を担っているのが、経営企画担当執行役員の岩切邦雄です。

岩切は日本興業銀行でバンカーとしてキャリアをスタートし、コーポレートファイナンスの分野を中心に幅広く活躍してきました。その後は、自動車部品や電子部品のメーカーで経営企画部長、IT企業の財務責任者な

どを歴任。常に本質に対してバンカーとしての定量的証明からアプローチしようとする冷静な判断力と、困難な課題にも臆せず挑むバイタリティーの持ち主です。

「銀行時代は、一般的な支店業務の経験は少なく、バブル崩壊後の不良債権処理や、他行との経営統合への参画など、前例のない課題への挑戦を任されることがほとんどでした。その後、メーカーに移ってからも、海外工場の閉鎖やM & A など、複雑な課題解決の陣頭指揮を執ってきました。『異文化に飛び込んで、自身と会社の双方で成果と成長を実現すること』を常に求めてきたとも言えます。

その中で、私が大切にしてきたのは、まずその環境変化を前向きに楽しむこと。そして、その企業の文化を自分の中にいったん取り込んだ上で、そこに自分のキャリアやエネルギーを融合させ、組織に新たな化学反応を生み出していくことでした。多様な個性を融合させていくことは、強い組織をつくり、価値創造をしていく上で非常に重要です」

「オフィス」は企業の価値創造の現場 それを支えるビジネスの意義と責任

そんな岩切が弊社に入社した理由の一つが、「オフィス」と「区分化」というキーワードにあったと言います。「区分所有オフィスというビジネスモデルはとても魅力的です。何よりも『オフィス』を扱っているところに、着眼点のユニークさを感じました。不動産の中でも『住宅』は、人々が暮らし、安らぎ、憩う場所。これに対し『オフィス』は、世の中に新たな価値を生み出す企業活動を支える場です。企業が価値創造をしていく上

で、優れたオフィス環境を提供し、その機能を継続的に高めていく役割は極めて重要です。その任務を果たしているのがボルテックスだと捉えています」

実際、弊社のビジネスは、物件を売ったらそれで終わりではありません。プロパティマネジメントなどを通じて、物件の価値向上に継続的に取り組んでいる点に特徴があります。その本質は、「オフィス」という価値創造のプラットフォームを社会に提供していることにありと岩切は言います。

「つまりオーナーの皆様は、区分所有という形で、新しい価値創造のプラットフォームを保有してくださっているわけです。そこには、単なる投資商品としての不動産という範囲をはるかに超えた、社会的な意義があると思うのです」

そもそも不動産は本来に高い社会性・公共性を備えている、というのが岩切の考えです。

「もともと英語で不動産を意味する『real estate』は『personal estate』の対義語で、公的資産や公共財という含意があります。それは地球から与えられたものであり、供給量を人為的に増やすことはできない。いわば人類共通の大切な公共財であって、その価値を滞留させてはなりません。価値創造のために不動産という資産をできる限り活性化していくこと。そして『その価値向上にぜひ参画なさいませんか?』と、オーナーの皆様にご提案していくこと。これらがボルテックスという会社が掲げるビジネスの意義であり魅力だと考えています。

オーナーの皆様は、弊社にとって大切なお客様であるとともに、ボルテックスが取り組んでいく社会的な価値創造に向けた大事なパートナーでありたいと思っています。多数のオーナー様との間の強いパートナーシップこそが、不動産という公共財を軸にした価値創造の『渦』を大きくしていけると考えています」

社会的意義を持つビジネスだからこそ 高いクオリティの意識が求められる

不動産という重要な資産を扱って業としている以上、社員たちには社会に対する責任意識と高い目線、行動を律する強い覚悟が求められると岩切は話します。

「すでに弊社は営業部門を中心に、人材育成のために多大な時間とエネルギーを割いています。これは素晴らしいことです。しかし、不動産を通じた社会的価値の創

造を目指していくのであれば、さらに人材には一層の高い視座が必要となります。たとえば、弊社は単なる不動産販売業ではなく需要創造企業を標榜していますから、幅広く経営や市場の潜在的なニーズを掘り起こせる知恵と経験をもっと培う必要があるでしょう」

日常的な業務改善と社員の意識向上も重要です。そのために現在、岩切が中心となって社内で行っているのが「オフィスの5S活動」*です。

「5Sは単なる職場の美化運動と思われがちですが、そうではありません。意識改革・改善のツールです。私もメーカーで5Sの思想や行動を学び、経営におけるその重要性に深い気づきがありました。5Sを徹底する企業のプロダクトクオリティがなぜ圧倒的に高いかといえ、それを支える人々の意識のクオリティが高いからです。優れた品質を維持するための業務上のルールを、働く現場が主導してつくり、皆で一緒に守っていく。日本のモノづくり企業はそうした日常的な取り組みを通じて、世界水準の製品を支える意識を醸成してきました。

私が社内で5S活動を始めたのも、社員全員が具体的な改善活動に取り組むことで意識を高め、それをボルテックスの社風としてほしいからです。それにオーナー様の中には製造業の方が多数います。我々が5Sを真に理解して実践していれば、共感を持ていただき、弊社に対する信頼を深めていただくことにつながるでしょう」

これまでも岩切は、新しい環境に飛び込んで価値観を融合させることで、組織に良い意味での化学変化を生み出してきました。もちろんそのイノベティブな姿勢は、弊社においても変わりません。

「弊社は『世の中の常識に挑戦する』という経営姿勢を持っています。あえて言うなら、私の役割は、ボルテックス自身の常識に挑戦して、新しい化学変化を生み出し、企業として一段の成長を図ること。そのことを通じて、代表の宮沢が掲げる『1兆円企業』という壮大な構想に着実に近づいていきたいと考えています」

Profile

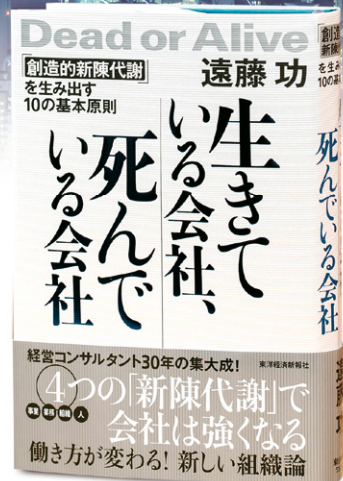


経営企画担当執行役員

岩切 邦雄

大学卒業後、㈱日本興業銀行（現みずほ銀行）入行。国内外の営業推進部門、投資銀行部門やアセットマネジメント部門を経て、一部上場メーカー企業・IT企業で経営企画部長やCFOを歴任。2019年10月ボルテックスに経営企画担当執行役員として入社。

* 5S 活動……「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の頭文字をとった語で、職場環境の改善を通じて業務効率化や品質向上につなげる考え方や活動を指す。現在、「5S（ファイブエス）」の名でグローバルに普及している。



『生きている会社、死んでいる会社』

日本企業の現状について、遠藤氏は次のように指摘します。

「環境が変化する中で、企業も変わらなければいけません。しかし、本当に生まれ変わろうとしている日本の企業はどれだけあるでしょうか。世界を見れば、アメリカのGAFAや中国のBATなどが存在感を高めている中で、日本の企業の存在感は相対的に低下しています。その理由は、昭和の成功モデルを引きずって生まれ変わらないまま、平成の30年を過ごしてしまったためです」

では、生まれ変わるためには何が必要でしょうか。もちろん、優れたリーダーや新事業を立ち上げるための戦略なども必要ですが、それだけでは不十分だと言います。「生まれ変わるために不可欠なものが『活力』です。組織が生気を失っている状態では、生まれ変わることは



BOOK REVIEW

変化する環境の中で、企業には常に新しい価値を創造することが求められます。そのために必要とされる「創造的新陳代謝」について、『現場力を鍛える』『見える化』などの著書で知られる遠藤功氏が著したのが『生きている会社、死んでいる会社』。生きている会社になるにはどうすればよいか、解説していただきました。

できません。その原則を踏まえると、日本は死んでいる会社が多い。その一方で、数は少ないですが生きている会社、生まれ変わろうと努力を続けている会社もあります。その差はどこにあるのか、という視点に立って会社をもう一度見つめ直して生まれたのがこの本です」

生きている会社であって死んでいる会社にはないものの一つが「現場力」です。遠藤氏は、平成の30年間で日本の企業が失ったものとして現場力をあげます。平成の後半に相次いだ大企業の品質問題、航空会社の飲酒問題、バイトテロなどは、まさに現場の品質が劣化し、会社が死んでいる状態になってしまった結果現れた症状といえます。なぜ日本の企業から現場力が失われてしまったのでしょうか。

「『自分たちが会社を支えている』『自分たちが問題を自主的に解決していくんだ』という当事者意識が現場から失われたからです。その一つの理由は、本社が内部統制、コンプライアンス、ISOなど、管理強化の枠組みを現場に押しつけてきたためだと考えられます。その結果、『言われたことだけをやればいい』という現場に変えてしまったのではないのでしょうか」

こうした死んでいる会社を生き返らせるためには、まず経営や本社が変わる必要があります。

「主役は現場であり、本社はそれをサポートするように、会社の建て付けそのものを変える必要があります。現場力は筋トレと同じで、目標を決めて地道にやるしかありません。劣化してしまった現場を蘇らせるためにどうすればよいのかを、真剣に考える必要があります」

リーダーに求められるのは 代謝を進めミッションを示すこと

本書の中で遠藤氏は、価値創造のためには代謝が重要

『生きている会社、死んでいる会社』

経営者は代謝を進め、現場の創造性を支援せよ

であり、「代謝こそリーダーの仕事」だと指摘しています。

「会社は、常に新しいことにチャレンジして、お客様に支持されるような価値を創造し続けなければなりません。そのためには、競争力がなくなったものや意味がないことはやめる必要があります。そうしなければ、新しいことに振り向けるリソースが出てこないからです」

たとえばGAFAは、こうした新陳代謝をダイナミックに実行しています。新たな事業をどんどん展開し、ダメだと思えばすぐにやめる。一方、日本の企業の問題は、代謝が不十分なことです。不要なものを捨てていけば、自ずと新しいものにリソースを振り向けることができ、新しいことをしなければいけないという切迫感も生まれると、遠藤氏は言います。結果として、創造は加速していくはずなのです。

「では、誰が代謝を促すことができるか。『創造』は現場でできますが、『代謝』は現場に任せておくと進みません。自分たちがやってきたことをやめるのは難しいからです。だからこそ、代謝ほどトップ主導で取り組まなければなりません」

一方で、現場の創造性を高めるには、「微差」の追求の重要性をあげています。

「現場は基本的にルーティンワークが中心になりますが、漫然と行うのではなく、ルーティンの中でちょっとした問題に気づき、それを新しいやり方に変えていく。そうした微差を現場が追求することによって、小さな改善が積み重なり、大きな変化へとつながります」

たとえば、ウォシュレットの開発現場では、より少ない水で汚れを落とすために、担当者たちが水流を見ながら議論し合い、試行錯誤を重ねて製品を進化させてきました。食品の世界でも、日本の果物やお酒などが海外で高く評価されていますが、いずれも粘り強く改良を重ねてきた賜物といえます。

微差を追求する上で必要なのが、経営者が目的やミッションを設定することです。

遠藤 功氏（えんどう いさお）

株式会社ローランド・ベルガー会長。早稲田大学商学部卒業。米国ボストンカレッジ経営学修士（MBA）。三菱電機、米国系戦略コンサルティング会社を経て、2000年にローランド・ベルガーに参画。経営コンサルタントとして、戦略策定のみならず実行支援を伴った「結果の出る」コンサルティングで高い評価を得ている。良品計画、SOMPOホールディングス、ドリーム・アーツ、マザーハウスの社外取締役等を務める。『現場力を鍛える』『見える化』『現場論』（以上、東洋経済新報社）などベストセラー著書多数。



「大きな目的があれば、仕事が単なるワークではなくプレイとなり、微差を追求しようという意識に変わります。たとえば、レンガ積み職人は、単にレンガを積み上げていると思ってやるよりも、教会をつくっているとイメージしてやるほうが、作業の品質と生産性は圧倒的に高くなります。大切なのは、タスクを与えるのではなく、ミッションを与えることです」

AIやロボットの時代に 人間にしかできないことは何かを考える

近い将来、AIやロボットが進化し、人間の仕事の多くを奪って置き換えられるといわれています。その中で、企業は現場力をどう高めていけばいいのでしょうか。「AIやロボットに置き換えられるところはどんどん進めていく一方で、人間にしかできないことは何かを考えていくことが大切です。それこそが他社が真似のできない、競争力の源泉になっていくはず。AIやロボットはお金さえ出せば誰でも手に入ります。模倣が困難なのは、人間にしかできないアナログの力です。これからは、AIやロボットを賢く使いこなすような現場力を鍛えていく必要があります」

AIやロボットが進化するから人はいらない、デジタル化が進むからアナログは意味がない、といった二項対立の単純な発想ではなく、AIやロボットと人間をどう共存させるか、デジタルとアナログをどう融合させるか、を模索するところに、日本の企業の生きる道があるといえます。

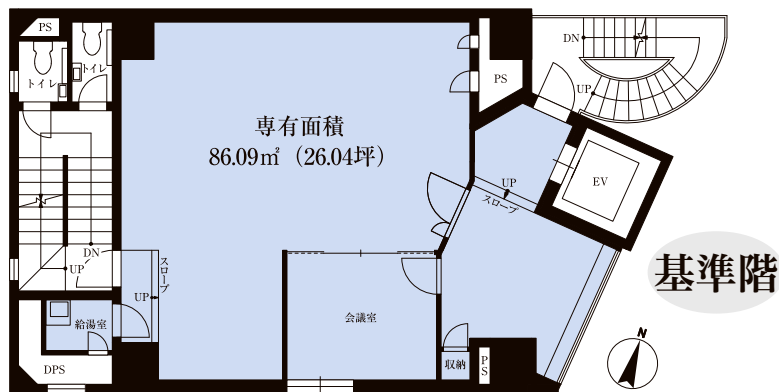
「世の中の主流はコモディティ（量産）化していきませんが、その中でも高品質なもの、ハイエンドなものは必ずあります。そういう付加価値の高い領域に日本の企業はこだわるべきです」

生きている会社の鍵はこれからも現場力にあります。自社の現場力をどう鍛えて独自価値をつくり上げていくか。経営者にとって最重要課題と言えそうです。



2020年1月撮影

東京駅まで1駅2分 アクセスの良さを誇る 5駅8路線利用可の商業街



販売物件については、弊社担当営業まで
お問い合わせください。



VORT 神田Ⅱ (仮称)

物件仕入ストーリー&アピールポイント 商業の中心地に建つ会議室標準装備のオフィスビル

本物件は賃料相場の上昇が見込まれ、購入を検討している競合他社がいるとの情報も入る中、以前から売主様が売却を希望されているとお聞きし交渉を行ってきたこともあって、取得に至りました。
「東京」駅までは1駅で「秋葉原」と「日本橋」の中間に位置する「神田」駅周辺は、古くからの商業の中心地であり、複数の路線が利用可能なエリアです。なかでも本物件は昭和通りに面し、「神田」駅からもほぼ一直線で徒歩5分というわかりやすい立地。3年前に内外装のリニューアル工事が行われ、外観や内装・設備が良くなっています。会議室やエレベーターホールの仕切りも設置され、入居後すぐに業務を開始することが可能です。新進IT企業などのスモールオフィスからの移転ニーズにも対応できる「VORT 神田Ⅱ」をぜひご検討ください。

(ソリューション部 デューデリジェンス課 担当)



2020年1月撮影

エントランスホール



アクセス

- *新宿線「岩本町」駅 徒歩3分 *JR各線「神田」駅 徒歩5分
- *銀座線「神田」駅、JR総武線快速「新日本橋」駅 徒歩6分
- *日比谷線「秋葉原」駅 徒歩6分 *JR各線「秋葉原」駅 徒歩8分
- *つくばエクスプレス「秋葉原」駅、日比谷線「小伝馬町」駅 徒歩9分

■名称/VORT 神田Ⅱ (仮称) ●所在地/東京都千代田区神田東紺屋町28番地1 ●構造/鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付き9階建 ●用途地域/商業地域 ●敷地面積/140.55㎡ (42.51坪) ●延床面積/1,085.89㎡ (328.48坪) ●土地権利/所有権 ●総戸数/10戸 (事務所: 10戸) ●基準階専有面積/86.09㎡ (26.04坪) ●築年月/1985年10月 ●施工/㈱竹中工務店 ●管理/〔全部委託〕〔巡回〕ボルテックス合人社建物管理㈱ ●設備/エレベーター1基 ●駐車場/なし ●現況/入居中 ●引渡し/相談 ●取引態様/売主

※坪表示は1㎡=0.3025坪で換算した表示です。 ※徒歩分数は1分=80mとして換算したものです。
※掲載の情報は2020年3月10日現在のものです。掲載情報は予告なく変更される場合があります。
また万一ご成約済みの際は、ご容赦ください。
※現況に相違がある可能性があります。その場合は現況を優先いたします。
※広告有効期限: 2020年4月9日

オフィスは「借りる」より「買う」時代へ。

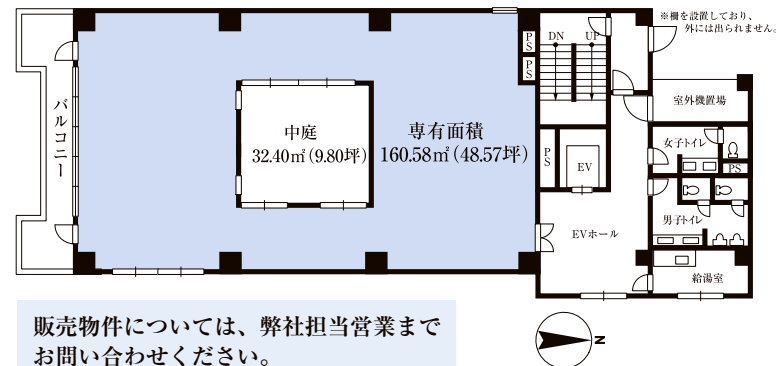
実需販売物件のご案内



2019年5月撮影

官庁街にもほど近い 半蔵門駅から徒歩1分 品格漂うビジネス拠点

8階



販売物件については、弊社担当営業まで
お問い合わせください。

VORT 半蔵門Ⅱ

アクセス

- *半蔵門線「半蔵門」駅 徒歩1分
- *有楽町線「麹町」駅 徒歩4分
- *南北線/有楽町線/半蔵門線「永田町」駅 徒歩10分

■名称/VORT 半蔵門Ⅱ ●所在地/東京都千代田区麹町二丁目2番地3 ●構造/鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根9階建 ●用途地域/商業地域 ●敷地面積/355.53㎡ (107.54坪) ●延床面積/2,397.41㎡ (725.21坪) ●土地権利/所有権 ●総戸数/9戸 (事務所: 9戸) ●8階専有面積/160.58㎡ (48.57坪) ●築年月/1988年6月 新耐震基準適合 ●施工/清水建設㈱ ●管理/〔全部委託〕〔巡回〕ボルテックス合人社建物管理㈱ ●設備/エレベーター1基 ●駐車場/なし ●現況/8階のみ空室 ●引渡し/相談 ●取引態様/売主

※坪表示は1㎡=0.3025坪で換算した表示です。 ※徒歩分数は1分=80mとして換算したものです。
※掲載の情報は2020年3月10日現在のものです。掲載情報は予告なく変更される場合があります。
また万一ご成約済みの際は、ご容赦ください。
※現況に相違がある可能性があります。その場合は現況を優先いたします。
※広告有効期限: 2020年4月9日



経営者様のためのボルテックスセミナー 企業基盤を強化する経営戦略セミナー

定員 (先着順)
10名
参加費
無料

4月8日水 / 4月22日水 ●開催時間 17:00~18:30 (16:30開場)

登壇者 株式会社ボルテックス 実需部 実需課 岩田 蒼

会場 株式会社ボルテックス 東京本社 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム22F
●JR 中央・総武線「飯田橋」駅 西口より徒歩1分
●東京メトロ有楽町線・東西線・南北線・都営大江戸線「飯田橋」駅 B2a 出口より徒歩2分

お申込み先 株式会社ボルテックス ☎0120-530-700 受付時間 9:30~18:00 (平日) ✉kariruyorikau@vortex-net.com

最新のセミナー開催情報については
ボルテックス公式サイトにて
ご覧いただけます。
ボルテックス セミナー 検索

新たなオフィス需要にこたえる検索・仲介の3サイト 賃貸オフィスと月極駐車場探しの悩みを解消します

充実のサポート!全国の賃貸オフィス検索サイト

★東京オフィス検索



POINT 最新の賃貸オフィス情報を順次更新。移転した取引会社数約5,000社の実績! 引っ越しのプロによるサポート体制も充実した賃貸オフィス検索サイト

オフィス移転のプロフェッショナルが、物件探しから賃料や設備の相談、契約書のチェックまでサポートします。移転先の条件が明確で、エリアを特定して探したい企業向けの検索サイト。

仲介手数料無料! 東京オフィス検索
日本全国の移転企業数 4,964社突破! 実績 No.1

現在の募集物件数: 5,871件
新着物件数: 217件

エリアから探す | 路線から探す | 住所から探す | 地図から探す

駅名・町名・ビル名から検索

千代田区	889件 >	中央区
港区	1097件 >	新宿区
渋谷区	749件 >	品川区

お役立ち情報充実のオフィス検索サイト

あしたのオフィス
ASHITA NO OFFICE

すべてのエリアで 仲介手数料無料です!!

新・エリアもしくは 建物名を入力 東京

エリアからオフィスを探す

東京 > 大阪
名古屋 > 福岡

空室状況のお問い合わせ、見学予約などはこちら

TEL 0120-023-017

あしたのオフィス



POINT 見やすく操作しやすいUI設計。移転準備や手続き、オフィスづくりなどのお役立ち情報も豊富

地図とリストの切り替えがしやすく検索もらくらく。物件探しやオフィスづくりに関するコラムや情報も満載。今から移転を考えようという企業に好適です。

全国の月極駐車場を探せる検索サイト

日本全国の月極駐車場検索サイト
馬主マップ
駐車情報 No.1
駅付近まで物件数 400,000+突破!

掲載数: 20,151件

エリアから探す | 現在地から探す | おまかせ探し

Q住所・駅名から探す

現在地から探す

月極駐車場の賃貸契約・お申し込みサイト 馬主マップ



POINT 月極駐車場紹介件数43万件突破! 直感的な操作で、希望エリアの駐車場を地図上に速攻表示!

日本全国の駐車場をマップで検索できるので、効率よく見つけられます。「営業車を複数台置きたい」「工事車両を一時置きたい」など、さまざまな希望に対応いたします。

ボルテックスのサービス

Vシェア®
不動産小口化商品

500万円から始める不動産小口化商品

経営の常識
自社ビルのススメ

賃料コストを削減する実需という選択肢

100年企業戦略
ONLINE

経営者必見の情報サイト

LINE

LINEはじめました

株式会社ボルテックス

〈東京本社〉〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム22F TEL.03-6893-5550(代) FAX.03-6893-5470

宅地建物取引業 国土交通大臣(2)第8509号 (公社)全国宅地建物取引業保証協会加盟
マンション管理業 国土交通大臣(2)第034052号 (公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟
不動産特定共同事業 金融庁長官・国土交通大臣第101号 (公社)東京都宅地建物取引業協会加盟

オフィシャルサイト
<https://www.vortex-net.com>

2020年3月19日発行 [発行・編集]株式会社ボルテックス ブランドマネジメント課 [TEL]03-6893-5661 [FAX]03-6893-5470 [制作協力]株式会社東洋経済新報社
※「区分所有オフィス」「VORT」「Vシェア」「THE EXPO 百年の計」は株式会社ボルテックスの登録商標です。※本誌は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。お客様が弊社取扱商品をご検討になる際に内部的に利用される場合を除き、弊社の事前の承諾なく、本誌掲載情報の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。
※掲載の物件情報は2020年3月10日現在のものです。※掲載情報は予告なく変更される場合があります。